

◆2012年 2月28日 掲載記事
「議会質問の結果、旭川市で初の冬季防災訓練を実施」！

"災害に強い街、めざす

公明 各地で対策を推進

厳寒期に防災訓練

市民、市職
員が参加 意識や対応力向上へ

北海道
旭川市



厳寒期の大規模災害を想定して旭川市で行われた防災訓練

北海道旭川市で18日、市消防本部による厳寒期の大規模災害の発生を想定した防災訓練が初めて行われた。

この訓練は、厳しい寒さの中で災害が起きた場合の対応力強化と防災意識の向上を図るためのもの。一般市民と市職員らをそれぞれ対象として、市内の旧雨崩中学校の体育館を避難所に見立てて実施された。

参加した伊藤アキ子さんは、「暖かい季節

に防災訓練を受けたことはあるが、この時期に体験

してみても、いざというときに役立たせたいと思うことが多かった」と感想を語っていた。

この後、市職員や自衛隊員、警察官など約80人が、地図上で災害時の避難方法を学ぶ災害図上訓練（DIG）を行うとともに、電気や水道などのライフラインが止まった状態で一夜を過ごした。

厳寒期の防災訓練については、公明党の中野寛幸市議が昨年6月定例会の一般質問で取り上げ、早期実施を主張。市側が前向きに取り組む意向を表明していた。



11月11日～17日の間（市内14会場）で、「まちづくりについて」をテーマに「市民と議会の意見交換会」がおこなわれ、その企画運営に携わりました。
（写真は東鷹栖公民館）



「氷点橋から見た、旭川新駅舎」2012/2

＊私が撮影した上の写真は市議会だより（60号）の表紙に掲載されたものです。



＊第46回衆議院選への絶大なご支援、本当にありがとうございました。